

■ 基本理念

小笠原世界遺産センター（仮称）は、「世界自然遺産地域 小笠原諸島管理計画」に基づいて、多様な関係機関の連携・協力・役割分担の下で、科学的アプローチによる世界自然遺産の保全管理の取り組みをすすめるための施設とする。固有種・希少種の緊急的な保全場所の確保、属島や同一島内の重要地域への外来種の拡散防止、既に侵入した外来種の駆除、モニタリングと情報活用、及び、関係者の合意形成を推進する。

<世界遺産センターが備える4つの機能>

- ① 父島における外来種検査・処置機能
- ② 父島における保全事業にかかる機能
- ③ 情報集約・発信機能
- ④ 管理運営機能

林野庁外来生物対策
母島施設との連携

一般にも開かれた施設ではあるが、島内の観光促進を主な対象とする施設ではなく、属島を中心とする自然再生事業の取組を行うための施設。

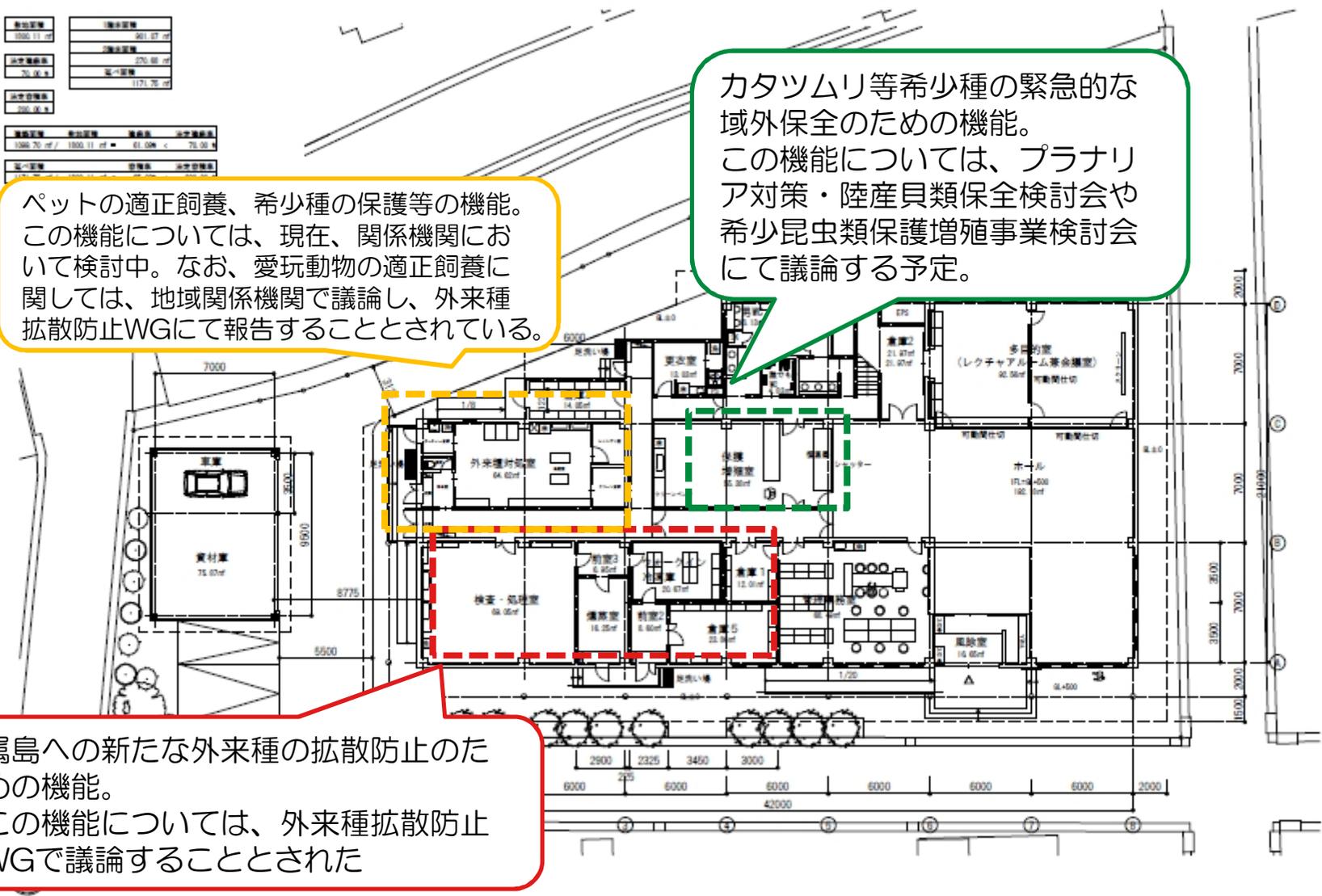
世界遺産センターの機能別の部屋の配置の考え方

敷地面積	1980.11㎡	1階床面積	961.87㎡
2階床面積	75.98㎡	3階床面積	270.88㎡
4階床面積	1171.70㎡	5階床面積	700.94㎡
建築面積	敷地面積	建築高	地上階高
1980.70㎡	1980.11㎡	61.00m	75.00m
延べ面積	容積率	地上階高	地上階高

ペットの適正飼養、希少種の保護等の機能。
この機能については、現在、関係機関において検討中。なお、愛玩動物の適正飼養に関しては、地域関係機関で議論し、外来種拡散防止WGにて報告することとされている。

カタツムリ等希少種の緊急的な域外保全のための機能。
この機能については、プラナリア対策・陸産貝類保全検討会や希少昆虫類保護増殖事業検討会にて議論する予定。

属島への新たな外来種の拡散防止のための機能。
この機能については、外来種拡散防止WGで議論することとされた

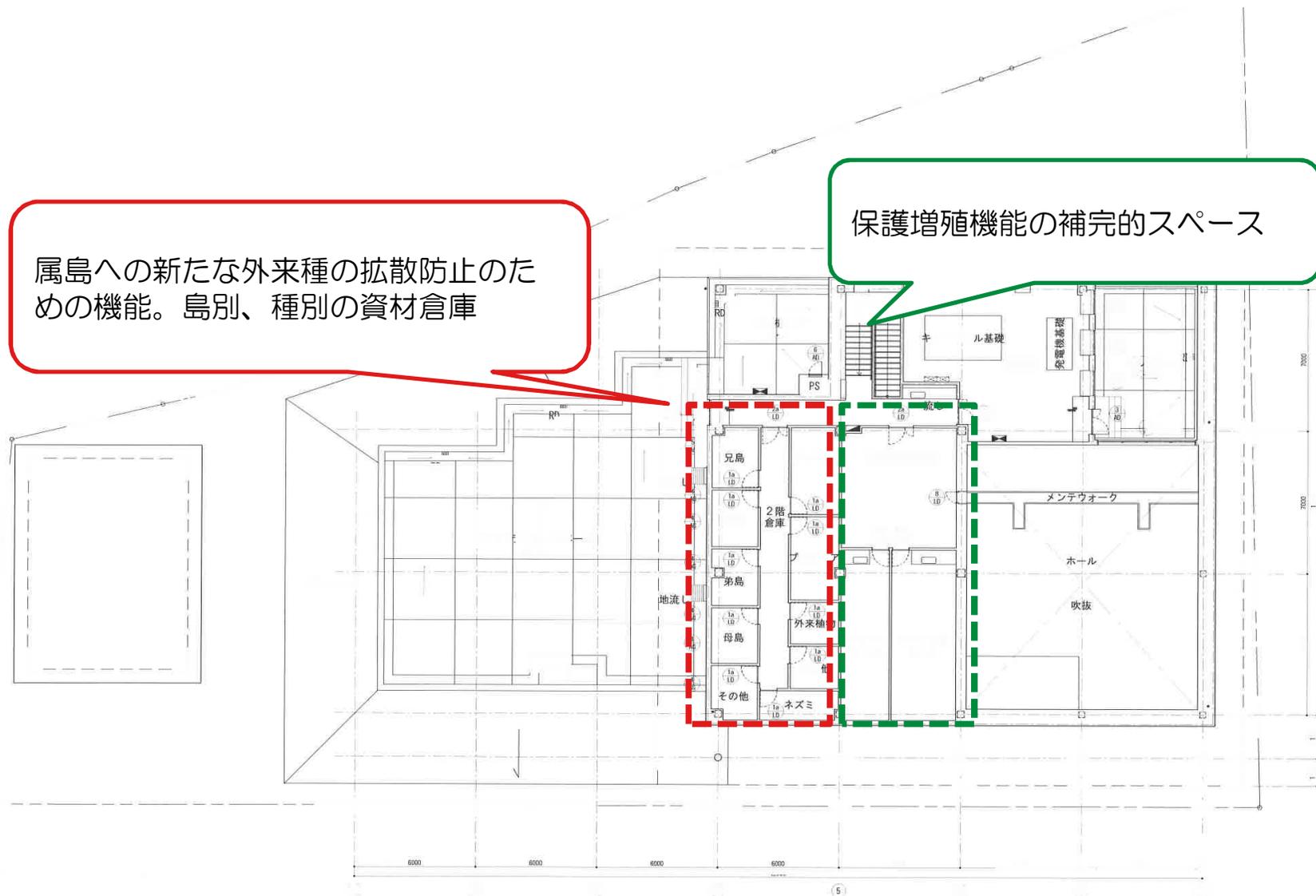


(*) H26. 3月実施設計発注時点の1F図面(部屋割り等については、変更がある予定)

世界遺産センターの機能別の部屋の配置の考え方（2F）

属島への新たな外来種の拡散防止のための機能。島別、種別の資材倉庫

保護増殖機能の補完的スペース



スケジュール

【平成26年1月18日】

住民の説明会を開催。

【平成26年2月24日】

地域連絡会議での報告。

【平成26年5月19日】

村民向け用地に関する説明会

【平成26年度前期】

実施設計の決定（予定）。

（＊）着工時期は未定